

新作施設

# TXグランドアベニュー おおたかの森

首都圏新都市鉄道(株)と東神開発(株)は5月25日、つくばエクスプレス「流山おおたかの森駅」の高架下空間を活用した商業施設「TXグランドアベニュー おおたかの森」を全面リニューアルオープンした。

サインデザインは、施設の設計・施工から内装監理まで手掛ける(株)スペースが担当。木質空間に合わせ、本物の木材を使用した木製サインを採用し、ピクトまでオリジナルデザインで制作した。



施設名称サイン（流山おおたかの森駅・北出口側）／H1965×W8855×D80mm  
ベース：ステンレスヘアライン 光源：内照式LED



夜間はサインが点灯し、施設への誘導性を高めている。

【所在地】

千葉県流山市  
おおたかの森北 1-1-1

【事業主】

首都圏新都市鉄道 株式会社

東神開発 株式会社

【設計・施工・内装監理】

株式会社 スペース

【サインデザイン・製作】

株式会社 スペース



リニューアルに際し、駅構内側の入口を増設。上部のサインは同様のサイズに見えるように調整したほか、施設情報を訴求するデジタルサイネージを設置した。



施設名称サイン  
(流山おおたかの森駅構内側)  
H290×W2480×D30mm  
ベース：スチール黒皮風塗装  
光源：内照式LED

内装木質化した空間に合わせ、木製サインを展開

首都圏新都市鉄道(株)と東神開発(株)は5月25日、つくばエクスプレス「流山おおたかの森駅」の高架下空間を活用した商業施設「TXグランドアベニュー おおたかの森」をリニューアルオープンした。

2007年に開業した同施設は、昨年からの経年劣化に応じたリニューアル工事に着手。内装解体時の廃棄木材や様々な現場で使用された廃棄予定の足場板のアップサイクル、千葉県産木材の活用、各製作工程で出た廃材の再利用で、内装木質化したサステナブルな商業施設へと生まれ変わった。

サインを含め、環境設計を手掛けた(株)スペースの商環境研究所・デザイナー・岡田拓也氏は「地域住民の日常使用を目的とした施設だったので、改装に際し

「みんなのモリのナカにこそ、かならず出会える、みんなの『マイニチ』」というコンセプトを設け、毎日寄っても飽きない、全ての人が寛げる居心地の良い商空間を目指した」と話す。

サインは木質空間に合わせ、本物の木材を使用した木製サインを採用。ピクトまでオリジナルデザインで制作した。

各サインは、木質空間に埋もれないように、同社が製作する従来のサインよりもスケールアップして製作することで、視認性を確保した。さらに、施設の柱は鉄道の構造躯体で直接サインを取り付けることができないため、周囲の木枠にサインを設置している。

色調は空間とのバランスを考慮し、溶剤系顔料着色ステイン塗装で5色以上の

パターンを施すことで、親しみやすいポップなデザインに仕上げている。木の色については、サンプルを作成し、色の濃さが一つ一つ異なって見えるように、細部まで濃淡を追求している。

「施設はうなぎの寝床のような、間口が狭く奥行きが深い構造となっており、出店タイプごとに三つのゾーンを構築している。各所の滞在時間をコントロールするため、奥に行くにつれ内装の色が濃くなるように調整しており、サインには全ゾーンの色調を付与することで、アイキャッチ効果を高めた。(岡田氏)。

リニューアル後は、「木製のサインが可愛い」「柱のデザインが見やすいね」「以前よりも明るく、開放的になった」といった声が届いているという。



Photography by Satoru Umetsu Nacasa & Partners Inc.

フロアガイド / H1820×W1200mm ベース：メラミン化粧板 マップサイン：アルミ複合板+インクジェット出力シート小口巻込貼  
木目調メラミン化粧板に、濃淡の異なる木目シート貼った装飾部材を取り付けることでアイキャッチ効果を高めた。



ピクトサイン (吊り) / H380×W760×D5mm  
ピクト：合板カットアウト+染色塗装+艶消  
ベース：スチール焼付塗装仕上げ



ピクトサイン (突出し) / H595×W395×D5mm  
ピクト：合板カットアウト+染色塗装+艶消  
ベース：スチール焼付塗装仕上げ



Photography by Satoru Umetsu Nacasa & Partners Inc.



ピクトサイン (柱・木枠)  
『ウォーターステーション』：H257×D5mm  
『矢印・駅』：H250×W490×D5mm  
『矢印・トイレ・エレベーター』：H250×W717×D5mm  
ピクト：合板カットアウト+染色塗装+艶消  
ベース：スチール焼付塗装仕上げ  
柱は、鉄道の構造躯体で直接サインを取り付けることができないため、周囲の木枠にサインを設置した。



①



②

①壁面フロアガイド  
H1215.4×W1140mm  
マップサイン：アルミ複合板+インクジェット出力シート小口巻込貼  
②ピクトサイン (壁面)  
D5mm ピクト：合板カットアウト+染色塗装+艶消  
ベース：スチール焼付塗装仕上げ



Photography by Satoru Umetsu Nacasa & Partners Inc.

インテリアは、「日常」「長屋」「種々情景 (色々な景色が見えるという同社の造語)」をキーワードにデザイン。改装前の内装として使用されていたルーバー (杉) を加工しテーブル部材としたほか、チェアやテーブル板は様々な工事現場で使用され廃棄予定だった足場板をアップサイクルしている。また、新規ルーバーは、羽板の向きをランダムに配置することで、座る場所によって見え方が異なるように調整した。



Photography by Satoru Umetsu Nacasa & Partners Inc.



Photography by Satoru Umetsu Nacasa & Partners Inc.

製作工程で出た廃材も壁面アートやウッドシャンデリアとして再利用するなど、素材を余すことなく活用している。